

第2回トラック記録会

2013年2月10日 西武園競輪場（400m走路）

主催・主管：東京都自転車競技連盟、東京都高等学校体育連盟自転車競技専門部

後援：財団法人日本自転車競技連盟

2013/2/2

Communiqué'1

■選手留意事項

MJおよびFJは、ギヤ比チェックは行いますので当日受付時に検査を受ける事。
バイクインスペクション未実施であるが、シーズン初期段階であるため、タイヤのリムセメント貼付状態確認は各自再確認してくること。

これはあくまでも安全を保障するものではなく、下記「JCF Regulations 2012」が適用になります。

第5章 自転車およびオートバイ

第16条（トラック・レーサーおよびロード・レーサー）

原則

- (3) ライセンス保持者が自ら選択した装備を使用したために発生した結果については、UCI および JCF は何ら責任を負うものではなく、また、その装備の欠陥もしくは不適合性についても何ら責任を負うものではない。

Commissaire Panel



この事業は、競輪の補助金を受けて実施するものです。 <http://ringring-keirin.jp>

第2回トラック記録会

2013年2月10日 西武園競輪場(400m走路)

主催・主管：東京都自転車競技連盟、東京都高等学校体育連盟自転車競技専門部

後援：財団法人日本自転車競技連盟

2013/2/2

Communique'2

■ 機材に関する規則適用における注意 II (ギア比制限)

ギア比は、各競技者が現時点で属する各カテゴリの上限を遵守すること。

(ジュニア：7.93, U17:7.01, U15:6.10, U13:5.66)

27'		REAR SPROCKET						
		11	12	13	14	15	16	17
FRONT SPROCKET	54	10.410	9.543	8.809	8.179	7.634	7.157	6.736
	53	10.217	9.366	8.645	8.028	7.493	7.024	6.611
	52	10.025	9.189	8.482	7.876	7.351	6.892	6.486
	51	9.832	9.012	8.319	7.725	7.210	6.759	6.362
	50	9.639	8.836	8.156	7.574	7.069	6.627	6.237
	49	9.446	8.659	7.993	7.422	6.927	6.494	6.112
	48	9.253	8.482	7.830	7.271	6.786	6.362	5.988
	47	9.061	8.306	7.667	7.119	6.644	6.229	5.863
	46	8.868	8.129	7.504	6.968	6.503	6.097	5.738
45	8.675	7.952	7.340	6.816	6.362	5.964	5.613	

26'		REAR SPROCKET						
		11	12	13	14	15	16	17
FRONT SPROCKET	54	9.639	8.836	8.156	7.574	7.069	6.627	6.237
	53	9.461	8.672	8.005	7.433	6.938	6.504	6.122
	52	9.282	8.509	7.854	7.293	6.807	6.381	6.006
	51	9.104	8.345	7.703	7.153	6.676	6.259	5.891
	50	8.925	8.181	7.552	7.013	6.545	6.136	5.775
	49	8.747	8.018	7.401	6.872	6.414	6.013	5.660
	48	8.568	7.854	7.250	6.732	6.283	5.891	5.544
	47	8.390	7.690	7.099	6.592	6.152	5.768	5.429
	46	8.211	7.527	6.948	6.452	6.021	5.645	5.313
45	8.033	7.363	6.797	6.311	5.891	5.522	5.198	

24'		REAR SPROCKET						
		11	12	13	14	15	16	17
FRONT SPROCKET	54	8.760	8.030	7.412	6.883	6.424	6.022	5.668
	53	8.598	7.881	7.275	6.755	6.305	5.911	5.563
	52	8.435	7.733	7.138	6.628	6.186	5.799	5.458
	51	8.273	7.584	7.000	6.500	6.067	5.688	5.353
	50	8.111	7.435	6.863	6.373	5.948	5.576	5.248
	49	7.949	7.286	6.726	6.246	5.829	5.465	5.143
	48	7.787	7.138	6.589	6.118	5.710	5.353	5.038
	47	7.624	6.989	6.451	5.991	5.591	5.242	4.933
	46	7.462	6.840	6.314	5.863	5.472	5.130	4.828
45	7.300	6.692	6.177	5.736	5.353	5.019	4.723	

	男子・女子ジュニア	7.93 m	ロードは 2000 年 1 月 1 日より、 トラックは 2012 年 4 月 1 日より
	16 歳以下(U17)	4.01 m	
	14 歳以下(U15)	6.10 m	
	12 歳以下(U13)	5.66 m	

Commissaire Panel



KEIRIN この事業は、競輪の補助金を受けて実施するものです。http://ringring-keirin.jp

第2回トラック記録会

2013年2月10日 西武園競輪場（400m走路）

主催・主管：東京都自転車競技連盟、東京都高等学校体育連盟自転車競技専門部

後援：財団法人日本自転車競技連盟

2013/2/2

Communiqué'3

■機材に関する規則適用における注意（ハンドルバーの位置）

JCF 規則第 16 条 3.(2)d)①[J]において、

「ハンドルバーの下限(C)（前後輪の上端を通る水平線）は、身体形態上の理由で必要な場合には下方に拡張できる。これらの理由により、規定より寸法の小さい自転車が必要であるとする競技者は、ライセンス・コントロール時にコミセール・パネルに申告しなければならない。」

と規定されている。

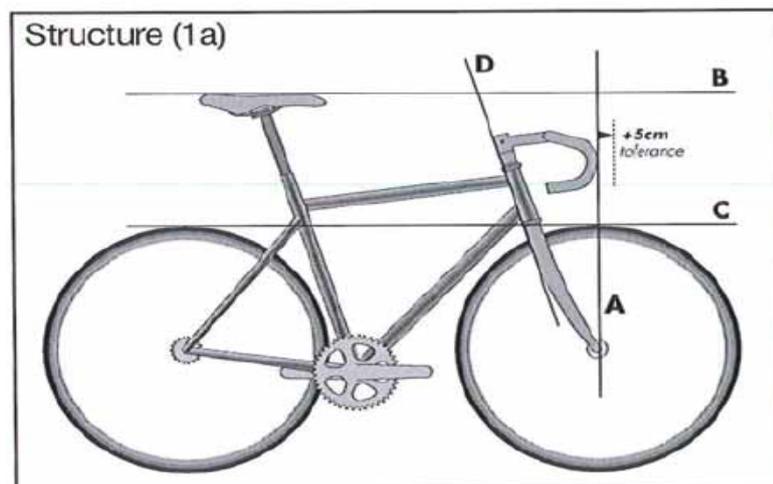
本大会におけるこの条項の適用において、“下方に拡張できる”範囲について JCF 規則では明示されていないが、今回は特にジュニア競技者において、2012年7月1日版の UCI 文書 “CLARIFICATION GUIDE OF THE UCI TECHNICAL REGULATION”* に準拠することを原則とする。

CLARIFICATION GUIDE OF THE UCI TECHNICAL REGULATION - Page 27

In fast track races (sprint, team sprint, keirin, flying 200 m, flying lap) and time trial races (500 m, 1 km), if the position of the front edge of the handlebar is less than 5 cm forward the vertical line passing through the front wheel axis (instead of 10 cm allowed), then the bottom edge of the handlebar can be positioned below the horizontal line passing through the top of the wheels as long as the contact point with the hand is above this limit.

高速のトラック競技（スプリント、チーム・スプリント、ケイリン、フライング 200m、フライング・ラップ）およびタイムトライアル（500 m、1 km）において、ハンドルバーの前端の位置が、前車軸を通る垂線より前方 5cm 以内（許可された 10cm ではなく）にある場合、ハンドルバーに手を触れる位置が車輪の頂点を通る水平面より下にならない限り、ハンドルバーの下端はこの面より下に位置してよい。

*: この文書は UCI ウェブサイトにおいて公開されています。



※ ハンドルバーの前端の位置が A の垂直線の前 5cm より手前にあるなら、ハンドルバーに手を載せる位置が C の水平線より下にならない範囲でハンドルバーを下げる事ができる。

Commissaire Panel



この事業は、競輪の補助金を受けて実施するものです。http://ringring-keirin.jp